1 芥川龍之介「るしへる」

帰依する事になった。書中に云っている所から推すと、彼は老儒の学にも造詣のある、 ものの著した書物である。 破提宇子と云う天主教を弁難した書物のある事は、知っている人も少くあるまい。これは、元和六年、加賀の禅僧巴毗弇なる 巴毗弇は当初南蛮寺に住した天主教徒であったが、その後何かの事情から、DS 如来を捨てて仏門に 一かどの才子だったらしい。

2 樋口一葉「大つごもり」

お母様御機嫌よう好い新年をお迎へなされませ、左様ならば參りますと、暇乞わざと恭しく、 お峰下駄を直せ、 お玄關からお

歸りではないお出かけだぞとづぶ~~しく大手を振りて、行先は何處、父が涙は一夜の[...]

* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ちち お与さく お与さく お与さく
*	N
×	が歩いる